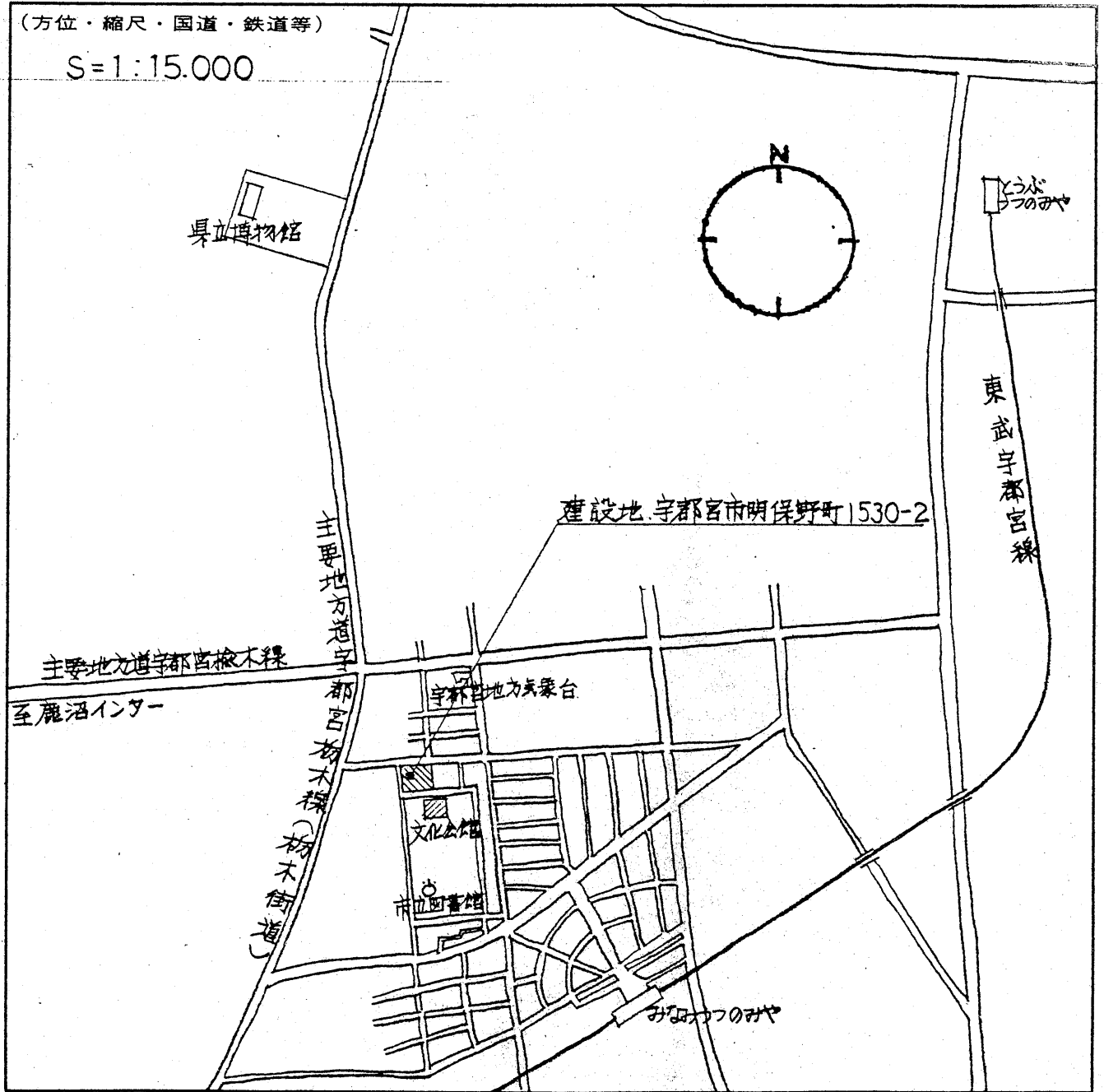


案内図

(方位・縮尺・国道・鉄道等)

S=1:15,000



仮称総合コミュニティセンター新築工事

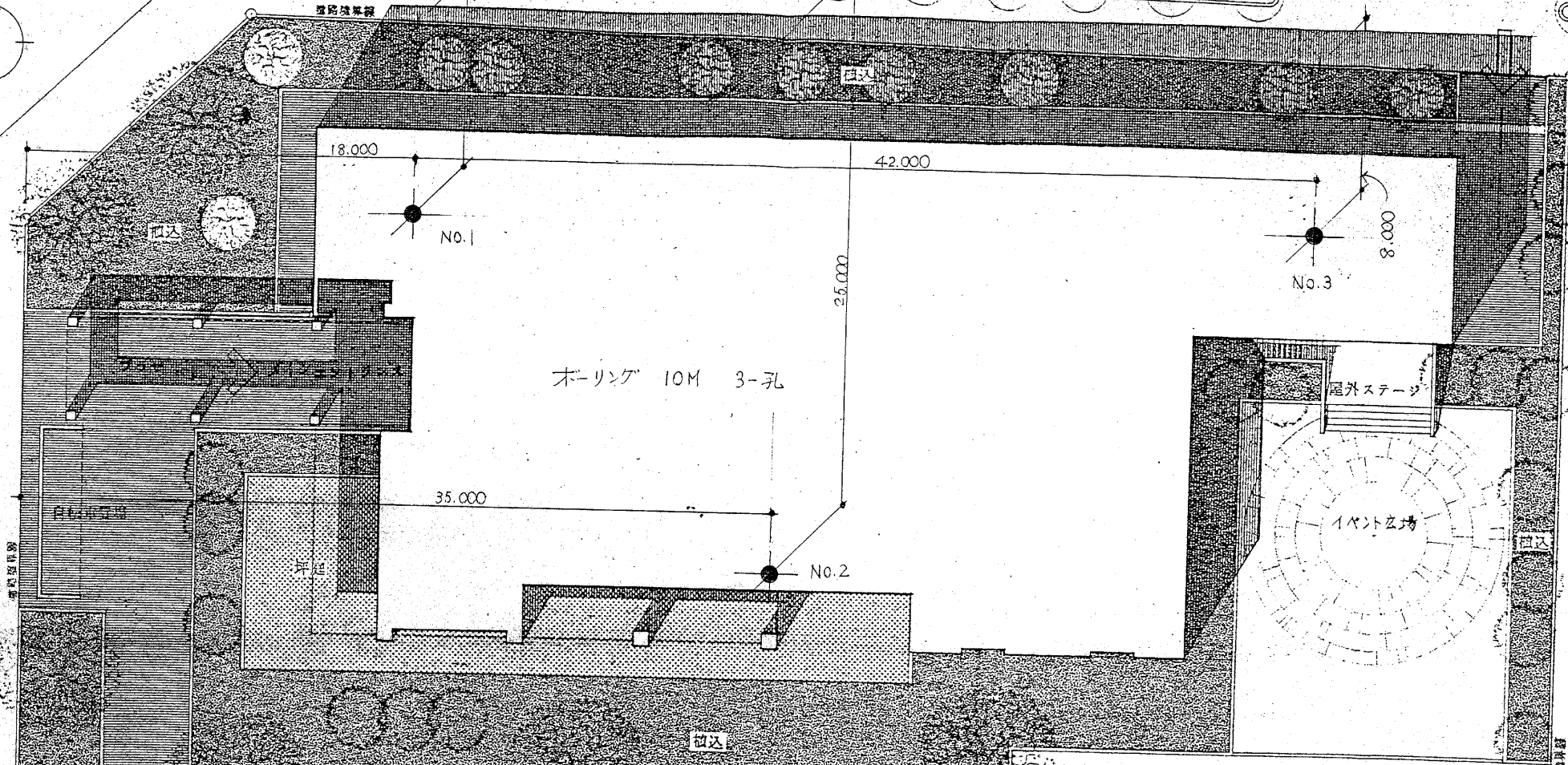
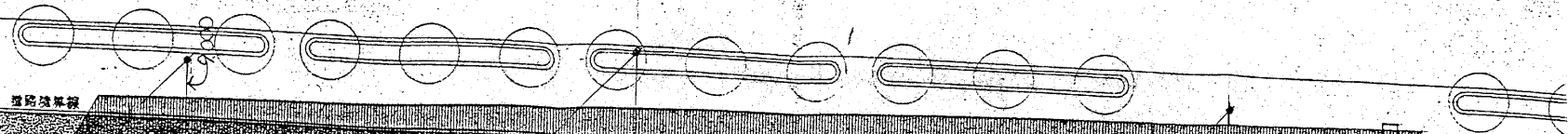
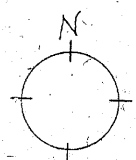
その他

(住戸数・席数・生徒数・駐車台数等)

駐車台数 63台

ホーリング位置図

S: 1/200

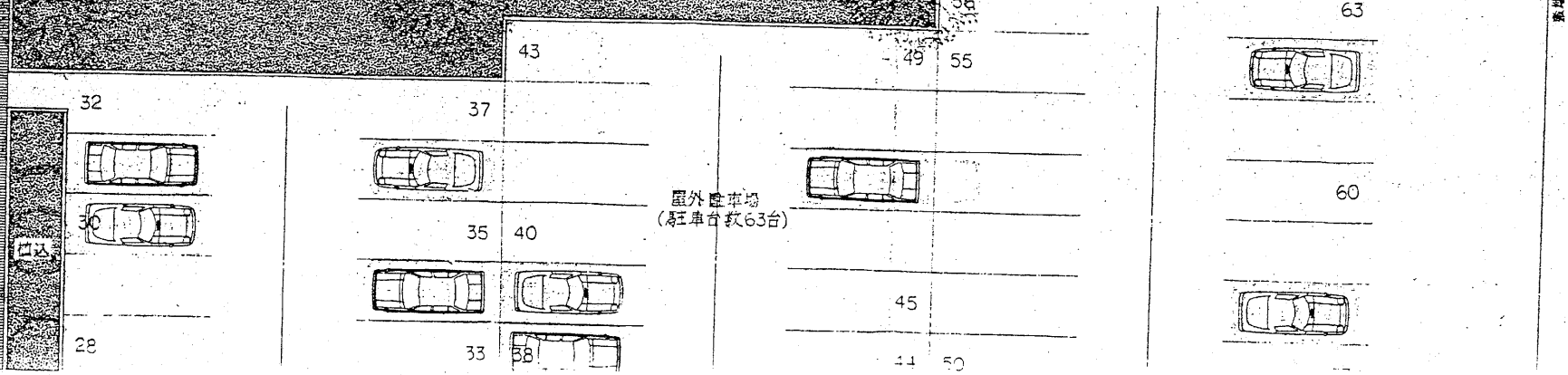
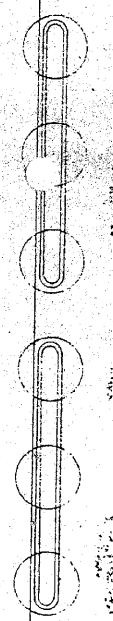


ホーリング 10M 3-孔

イベント広場

屋外ステージ

屋外駐車場
(軽車台数63台)



ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 総合コミュニティセンター新築 工事地質調査 孔番 № No. 1 地盤高 117.480 m

調査場所 宇都宮市明保野町1530-2 (基準面 BM 117.344)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和60年 2月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-4.85m

調査担当者 _____

標地下水位 高位(m)	深 度(m)	層 厚(m)	土質記号	土質	土性		備考	番号	記号	原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打撃回数									
					色調	相対 稠度					0	10	20	30	40	50	60	70		
	0.55	0.55	//	盛土	黒褐		砂礫ローム等	1		1.15 1.45										
1	1.70	1.20	//	ローム	茶褐		腐植物混入		1	1.15 1.45										
2	2.75	1.05	---	鹿沼土	黄灰		含水あり		2	1.20/1.3 2.15 2.45										
3			//	ローム	茶褐		粘性あり 4.35mより砂の含みあり		3	3.15 3.50/3.5										
4			//	ローム	茶褐		粘性あり 4.35mより砂の含みあり		4	1.18.2/2 4.15 4.45/5.0										
5	5.50	2.75	//				主体礫径20~30mm 所々礫径60~80mm 混入ある		5	1.20 5.15 5.45										
6			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある		6	16.9.6 6.15 6.45										
7			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある		7	15.13.8 7.15 7.45										
8			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある		8	10.14.17 8.15 8.45										
9			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある		9	13.12.17 9.15 9.45										
10	10.45		○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある		10	11.13.10 10.15 10.45										
11			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
12			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
13			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
14			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
15			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
16			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
17			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
18			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
19			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													
20			○	砂	褐灰		含水多い 6.25m~6.55mの間 小礫混り中粒砂の 挟みある													

ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 総合コミュニティセンター新築 工事地質調査 孔番 №. No. 2 地盤高 117.580 m

調査場所 宇都宮市明保野町1530-2 (基準面 BM 117.344)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和 60年 2月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-5.38m 調査担当者 _____

標地下水位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	番号	記号	原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打撃回数								
					色調	相対 密度 稠度					0	10	20	30	40	50	60	70	
	0.40	0.40	//	盛土	黒褐		ローム礫等												
	1.05	0.65	X	旧表土	黒灰		腐植ローム ゆるい	2	1	1/15.11.16	1.15.31								
	1.85	0.80	//	ローム	茶褐		少量の腐植物混入				1.50.38								
	2.90	1.05		鹿沼土	黄灰		水分含む				2/15.2/18	2.15.31							
	5.50	2.60	//	ローム	茶褐		上部極く少量の砂質含む 腐植物混入 3.5m附近若干粘性含む 下部少量の砂質含				3.15.31								
			○ ○ ○	砂礫	褐灰		主体礫径20~40mm 所々径60~70mm混入 含水多い 9.3mより少量の透水有り				3.45								
	10.45		/								4.15.31								
											4.45								
											5.15.31								
											5.45								
											6.15.50								
											6.57.42								
											7.15.50								
											7.43.57								
											8.15.16								
											8.45								
											9.15.50								
											9.45								
											10.15.50								
											10.41.58								

ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 総合コミュニティーセンター新築 工事地質調査 孔番 No. 3 地盤高 117.97 m

調査場所 宇都宮市明保野町1530-2

(基準面BM 117.344)

地 形 摘 要

調査期間 昭和60年 2 月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-5.35m

調査担当者

